

取扱説明書

DAYTONA corp.

S79045①/⑥

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

ホットグリップ ヘビーデューティー4S用 4段階セレクトスイッチ	適応車種 68097, 76990, 79043 補修用	商品NO. 79045
-------------------------------------	------------------------------------	----------------

■ご使用前に必ずご確認ください■

※取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示しております。
	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示しております。

	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		禁止の行為であることを告げるものです。
	表記の注意を告げるものです。		その他の警告及び注意を告げるものです。
	表記の注意を告げるものです。		

△注意

- この商品はホットグリップヘビーデューティ（68097）、ホットグリップヘビーデューティ4S（76990）、ホットグリップヘビーデューティ4S（79043）専用です。その他のホットグリップには絶対に使用しないでください。グリップの抵抗値が違うため、異常加熱し、火傷や火災の原因となります。



禁止

- ヤマハ初期マジェスティ(4HC)には適合しません。車両の発電能力不足の為使用出来ません。その他の発電能力不足の車両も同様に使用できません。
- 作業を行う場合は、濡れた手での作業をしないでください。濡れた手で作業をした場合感電する可能性があり、たいへん危険です。

- 配線ミスによるショート防止のため、作業に入る前に必ずバッテリーのマイナス端子を外してショートしないようウエスなどで絶縁した上で作業してください。



実施

- H.I.Dシステム（装着車のみ）等の高電圧ユニットとの同時装着を考慮しておりますが、使用条件によって誤作動を起こす場合があります。車体のイグニションキーをONにした後、本商品の電源をONにしてからエンジンを始動、またはH.I.Dシステムの電源をONした場合には、高電圧ノイズによって本商品がリセットされる場合があります。ご使用の際には、エンジンを始動し、H.I.Dシステム点灯（装着車のみ）後に本商品の電源をONにしてください。



実施

- 電装部品の追加となり消費電力も多く使用する商品です。走行後充電するなどのバッテリーのメンテナンスを確実に行ってください。
- EFI(インジェクション)車や、イモビライザー装着車、テールランプなどにLEDランプを使用している車両は電源の配線にご注意ください。
- EFI車では、コンピューターで電力の制御をしている車両がありホットグリップに限らず電力供給に関して過電流があると電力カットするものがあります。電力制限のない配線を確認して接続してください。また、テールランプにLEDを使用している車両や、イモビライザーなどの盗難防止機能付の車両などへの配線については特に注意してください。
- LEDランプなどは消費電力を抑えており配線の線径が細いものがあります。配線の異常過熱の原因となりますので絶対に配線しないでください。
- イモビライザー等の装着車は特にキーシリンダー周りへの配線にご注意ください。イモビライザーの誤作動やコンピューターの故障原因となります。
- 必ず、装着前に上記項目に関する車両の特徴をご確認ください。また、必要に応じて車両メーカー等への問い合わせをお願いします。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに使用を中止して車両を安全な場所に停車させて異常箇所を必ず点検し、購入先や弊社にご連絡ください。**



水ぬれ禁止

- セレクトスイッチは完全防水ではありません。洗車時にホース等で直接水を掛けないようにしてください。水圧で中に水が入る恐れがあります。



その他

- ホットグリップのスイッチ操作はエンジン始動後に行ってください。エンジン停止時にホットグリップを使用しますとバッテリーの消耗が早まってしまいます(メインキーONの時だけ電力が供給されます)。注)消費電力が大きい商品ですので暖気運転ではバッテリーを消費します。長時間の暖気運転時にはご注意ください。
- 長期使用等で性能が著しく低下したバッテリーの場合、商品を取り付けることによってバッテリー上がりを起こしたり、商品が正常に動作しない場合があります。
- ジェネレーター容量の小さい車両に商品を取り付けた場合、充電能力不足でバッテリートラブルを引き起こすことがあります。
- セレクトスイッチのLEVEL3、4は常時使用しないでください。バッテリートラブルや、やけどの恐れがありますので急速暖房用としてご使用ください。
- 本商品は、グリップ温度をパルス発信回路にて制御しています。車体のメーターに使用している電源ラインから本商品の電源をとった場合、設定温度によってはメーター照明がちらつく場合があります。本商品が電流を多く使用するために起こる現象ですので商品の不具合ではありません。症状が発生した場合には、プラス側の電源を車体メータ一配線以外の配線から取るよう変更してください。



高温注意

- 長時間の使用により低温やけどの恐れがあります。無意識のうちにやけどをする可能性があります。目安として30分に1回程度電源スイッチをOFFにするなどしてご使用ください。なお、グローブ着用時でも低温やけどの恐れがあります。ご注意ください。

本商品の特徴

- ホットグリップヘビーデューティ4Sn(79043)、ホットグリップヘビーデューティ4S(76990)、ホットグリップヘビーデューティ(68097)用の補修＆オプションスイッチです。
- 電源ON時に最大4分間の急速暖房を行なうクイックヒート機能搭載。
- 4段階セレクトスイッチでボタンを押すたびに温度LEVELを切替可能。

商品諸元

- 作動電圧:DC12V
- 電源OFF時の消費電流:約0.05mA
- 電源ON時は左図を参照

消費電力

LEVEL 設定	消費電力	表示LED色
LEVEL1	約21W	緑色
LEVEL2	約31W	黄色
LEVEL3	約43W	橙色
LEVEL4	約55W	赤色
クイックヒート	約55W	点滅

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	4段階セレクトスイッチ		1	⑥	ラバーバンド	17×70mm	1
②	スイッチ固定用ブラケット(上)		1	⑦	結線コネクター		2
③	スイッチ固定用ブラケット(下)		1	⑧	両面テープ	25x25mm	1
④	ブラケット用ボルト	M5	2	⑨	結束バンド	150mm	2
⑤	ワッシャー	M5	2				

取付方法

作業手順

1. 車体バッテリーのマイナス端子を取り外し、ウエスや絶縁テープなどで絶縁しておきます。

2. 電源の配線をします。

- プラス側の電源を、フロントブレーキマスター、テールランプ、車体アクセサリー配線等のイグニションキーONで12Vが発生するハーネスに接続します。

※以下の接続は絶対にお止めください。(プラス・マイナス電源共禁止です。)

1 ヘッドライト・ワインカー・ホーン・メーター照明への接続。

2 細い配線(被覆径で2mm以下の線)には不可。特にLEDテールランプ装着車は注意。

3 プラス線をバッテリーへの直接接続。(マイナスのアース配線は可能)

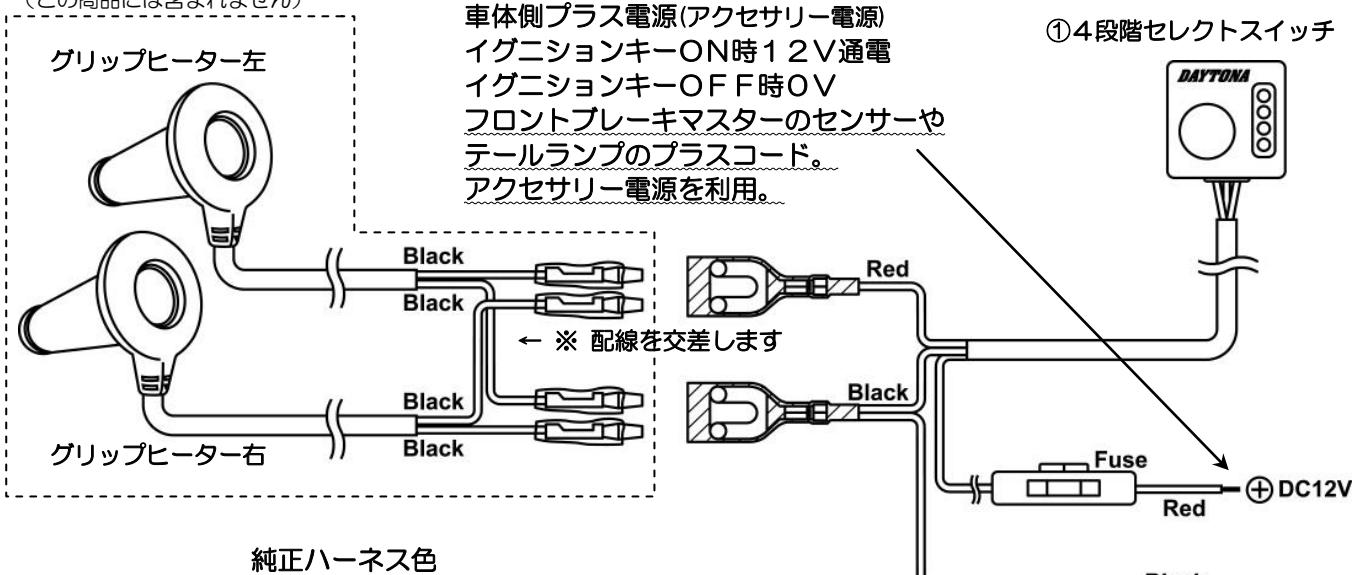
4 コンピュータユニット・イモビライザー等への配線。

- マイナス側の配線を、ボディーアース、バッテリーのマイナス端子へ接続します。

フレーム等に塗装がされている場合は塗装を削り確実にアースしてください。

ホットグリップヒーティング4SN
(79045)用グリップ
(この商品には含まれません)

ホットグリップ配線図



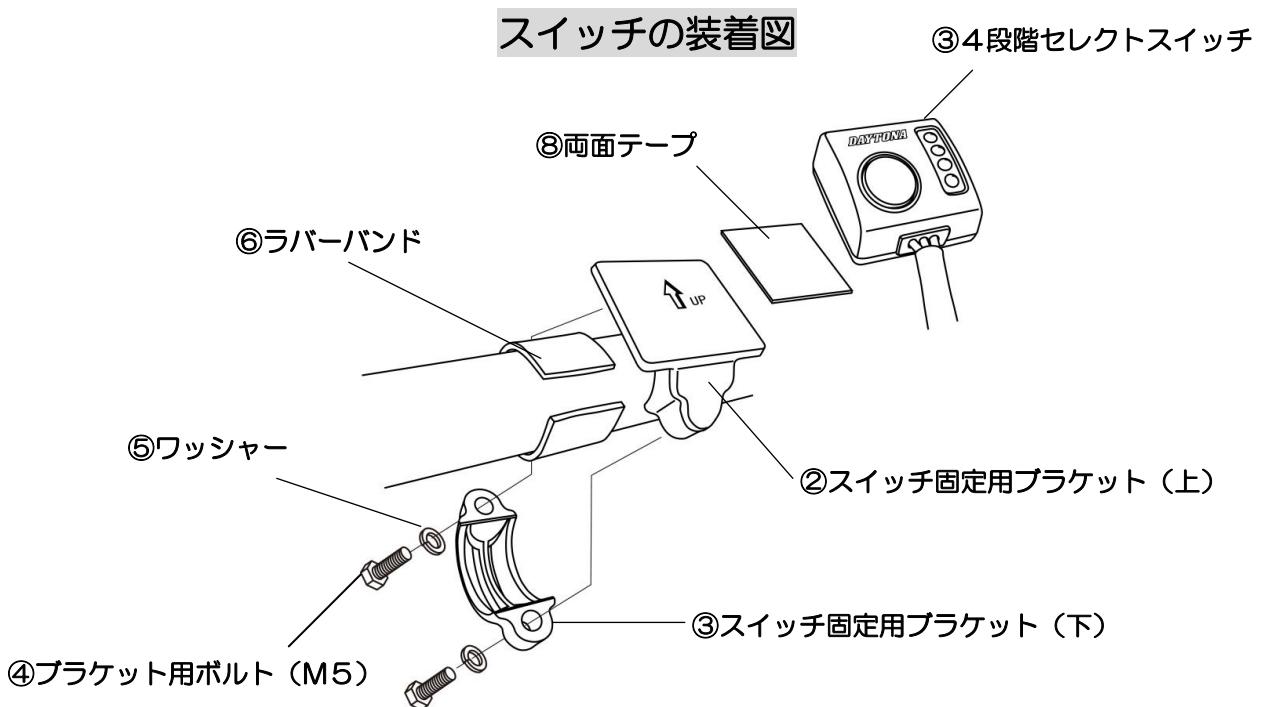
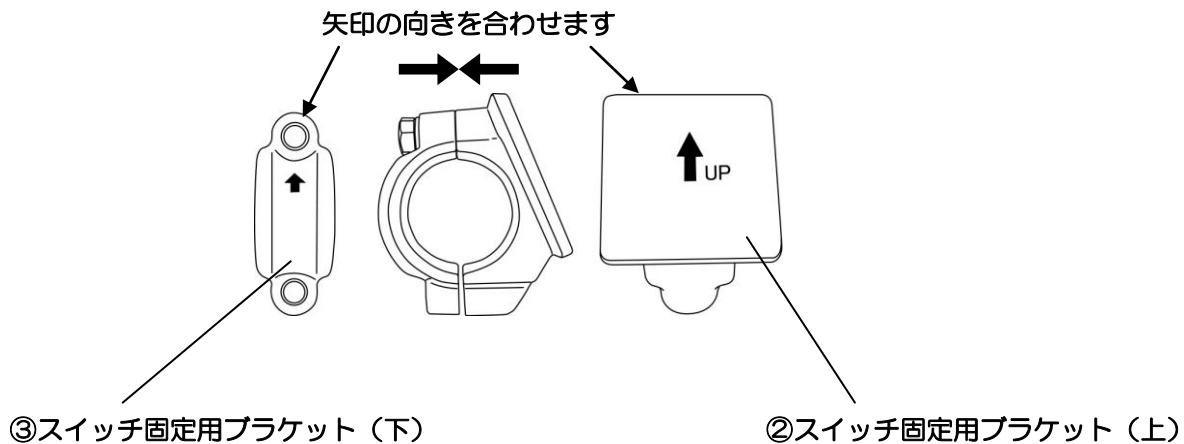
純正ハーネス色については参考資料となります。
車種によっては色が異なる場合があります。必ずオーナーズ
マニュアルやテスターでご確認ください。

3. ホットグリップヘビーデューティ4SNのグリップ左右と①4段階セレクトスイッチは、各キボシ端子を3ページの配線図通りに接続してください。車体マイナス電源コード、プラス電源コードは⑦結線コネクターなどを使用して接続してください。※プラス電源線(DC12V)やマイナス電源線(アース)については必要に応じて延長が必要な場合があります。その際に使用する線は同じぐらいの太さの線を使用してください。(被覆径で2mm以下の配線は絶対に使用しないでください。)

4. 結束バンドで各配線コードをまとめます。

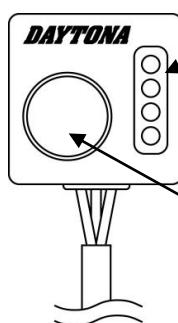
5. スイッチ固定用ブラケットをハンドルに固定します。

ハンドルバーのスイッチを固定したい場所に⑥ラバーバンドを巻き付けて、②③スイッチ固定用ブラケット(上下)の矢印の向きを合わせてハンドルに挟み、矢印の方から先に④ブラケット用ボルトと⑤ワッシャーで固定します。



※セレクトスイッチは完全防水ではありません。洗車時にホース等で直接水を掛けないようにしてください。水圧で中に水が入る恐れがあります。

操作方法



インジケーター
赤：温度レベル4
橙：温度レベル3
黄：温度レベル2
緑：温度レベル1

操作ボタン

ホットグリップの電源を入れる

ホットグリップの電源をONにする。

ホットグリップの電源がOFFのとき、操作ボタンを3秒間長押しする。

ホットグリップの電源をOFFにする。

ホットグリップの電源がONのとき、操作ボタンを3秒間長押しする。または車両のイグニションキーをOFFにする。

ホットグリップの電源をONにすると、クイックヒート機能で4分間の急速暖房後、前回電源をOFFにした時に設定されていた温度レベルになります。

ホットグリップの設定温度を切り替える

クイックヒート機能（急速暖房）

ホットグリップの電源をONにした時、必ず動作します。最大4分間、自動で働きますが、キャンセルして通常暖房に戻したい場合にはクイックヒート中に操作ボタンを1回押します。

（インジケーター点滅 → インジケーター点灯）

クイックヒート中は設定されている温度レベルのインジケーターが点滅します。

（例。温度レベル2に設定してあった場合には黄色のインジケーターが点滅します。）

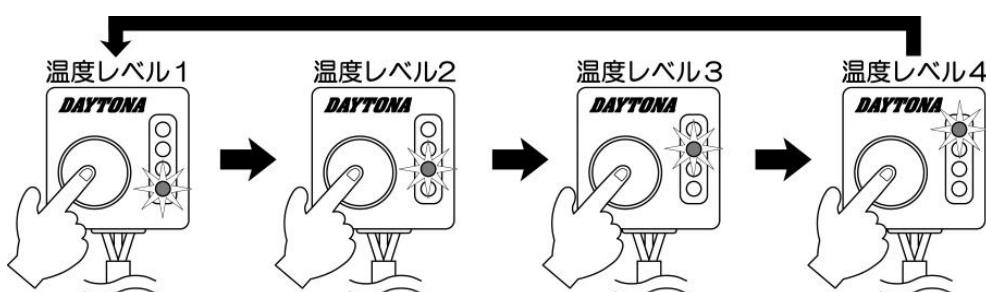
4分間のクイックヒートが終わると自動で設定レベルの通常暖房に切り替わります。

（インジケーター点滅 → インジケーター点灯）

※加熱温度は温度レベル4と同等です。温度レベル4に設定してあった場合にはクイックヒート中であってもグリップ温度は温度レベル4以上には上がりません。

設定温度を切り替える

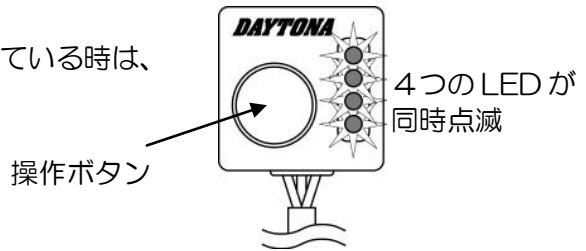
通常暖房中に操作ボタンを押すことで温度レベルが切り替わります。



通常暖房中は設定されている温度レベルのインジケーターが点灯します。

●インジケーターの表示について

○4段階セレクトスイッチのインジケーター4灯が同時点滅している時は、スイッチが何らかの異常を検出して動作を停止しています。原因として以下の症状が考えられます。



原因	解決
スイッチとグリップの結線方法が間違っている場合	取扱説明書 3 ページのホットグリップ配線図を確認してください。
グリップが断線している場合	グリップ単品の抵抗値を確認してください。 抵抗値は $5.0\Omega \pm 10\%$ です。 4.5Ω から 5.5Ω が許容範囲内です。

トラブルシューティング Q&A

Q グリップがあたたまらない。

A

- ① 各配線のキボシ・結線コネクターはしっかりと接続されているか確認してください。
- ② 4段階セレクトスイッチから出ている黒色線(アース線)がしっかりと接続されているか確認してください。特にボディーアースの場合は塗装を剥がしたところにしっかりとアースがされているか確認してください。アース不良では発熱が弱まります。
- ③ バッテリーは弱っていないか。テスターなどで 12V 以上電圧が発生しているか確認をする。12V 以下となると発熱が弱まります。バッテリーを充電するか新品に交換してください。
取り付け時発生の不具合については保障対象外となります。ご注意ください。

Q グリップが熱くなりすぎる。

A

- ① ホットグリップの電源をONにしたときには必ずクイックヒート機能（急速暖房機能）が働きります。クイックヒート機能が熱いと感じる場合には操作ボタンを1回押してクイックヒート機能をキャンセルしてください。
- ② バイクの再始動時等、すでにグリップが加熱され熱を帯びている状態でホットグリップの電源をONした場合、設定している温度レベル以上にグリップ温度が上昇する場合があります。この場合には、クイックヒート機能をキャンセルして温度レベルの設定を“1”にして温度が安定するまでしばらく待ってからご乗車ください。
- ③ 使用しているグリップが、ホットグリップヘビーデューティー4Sn (79043)、ホットグリップヘビーデューティー4S (76990) またはホットグリップヘビーデューティー (68097) 用のものであるかご確認ください。その他のグリップでは抵抗値が違うため、異常加熱して火傷や火災の原因となりますので絶対に使用しないでください。

Q ホットグリップの電源をONにするとメーター照明やポジションランプがちらつく。

A

- ① この商品は、グリップ温度をパルス発信回路にて制御しています。車体のメーターに使用している電源ラインから電源をとった場合、バッテリー電圧の低下や設定温度によって、メーター照明がちらつく場合があります。本商品が電流を多く使用するために起こる現象ですので商品の不具合ではありません。症状が発生した場合には、プラス側の電源を車体メーター配線以外のから取るよう変更してください。

東証JASDAQ上場 株式会社 **デイトナ** ☎437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <http://www.daytona.co.jp>

◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで